

報告者： 又川 淳也 (清水エスパルス)

■期間

第 5 コース (東海)

前期：2017 年 6 月 19 日(月)～6 月 24 日(土)

後期：2017 年 10 月 16 日(月)～10 月 21 日(土)

■会場

御殿場高原時之栖

■インストラクター

濱崎 芳己氏

池内 豊氏

■所感

【ポジティブな声掛け】

自分の指導実践の際に、どうしても選手を改善しようとするあまり悪いプレーばかりに目がいってしまい、良いプレーを誉めるといことが少なかった。誉めることによりコーチが求めるプレーの基準を示すことができ、選手達も迷うことなく高いモチベーションを持ってプレーできているのをインストラクターの指導や他の受講生の指導を観て感じた。

指導者は分析・改善するのが役割だが改善ばかりにならず、誉めることにより誉めた本人だけでなく、その周りの選手にも基準を示すことができ、より良いプレーを引き出す指導になると改めて誉めることの大切さを学んだ。

【3人称】

フリーズをした際に off の部分に原因がありミスをしたのに、改善しようとするところが on の部分のため、選手を納得させるということができない時があった。やはり 2～3 プレー前から、改善しようとする選手を観ておいて off の準備がどうであったかを指導できるように観れる範囲を拡大していかななくてはいけないと感じた。

自分自身選手役としてプレーしている時も、off の部分をしっかり観ておいてもらえると準備が足りなかったのかと理解、納得できていたので、off の部分を観ておいた上でミスの原因は on なのか off なのか、それとも両方なのかを見極め指導する必要があると感じた。

しかし、ミスをするのを待つのではなく、観る範囲を広げることによりボールから遠い選手にどういった準備をしたら良いのかを促す指導をすることもできなければいけないと感じた。

最後に、今回静岡県サッカー協会のご支援、ご協力のもと講習会に参加させて頂くことができました。感謝致します。今後は、日常にサッカー指導をできる環境があることに感謝の気持ちを持ちつつ、静岡県サッカーの発展の為に微力ながら寄与できればと思います。